

さんきゅうパパ どう思う？ みんなのリアルな声

ママ

いつものこと、やっているだけだけど、やっぱり「**ありがとう**」って言われると**素直にうれしい**です。産後はどうしても余裕がなくなりイライラしがちだからこそ、改めてこういう優しい言葉を交わしたいです。

長野県/専業主婦/30歳/子供3歳、0歳



ママ

不安なときにそばにいてくれるだけで支えにはなったけれど、**家の中のことや子供の世話をもっと主体的にやってほしい**です。せめて自分のことは自分でできるようになって！（笑）

兵庫県/会社員/32歳/子供2歳、0歳

上司

男性社員に子供ができて育児を始めると、**大なり小なり、その社員の顔つきが変わる**んですよ。きっと何かしらの責任や重みがそうさせるのですが、上司としては、**仕事の面でも非常に心強く感じる瞬間**です。

東京都/会社員/43歳/子供3歳

パパ

産後3日休みました。出産にも立ち会えて、人生の一大イベントをちゃんと一緒に体験できました！それに**子供の笑顔と、日々の成長を見守れたことは生涯の宝物**。休んでよかったです！

神奈川県/会社員/35歳/子供4歳



ママ

初めての子育てで不安もありましたが、子供が夜泣く度に一緒に起きてくれたり、私がゆっくりご飯が食べられるように子供を抱っこしてくれたり、また話し相手になってくれ、**精神的にも支えられました**。**復職もスムーズ**でした。

東京都/会社員/32歳/子供3歳

上司

ある程度休みの時期がわかる出産後の休暇は、**職場にとっても、スムーズな引継ぎを学習するいい機会**となりました。今後、育児や介護で制約のある社員が増えると言われているので、お互いに気持ち良く休みが取れるように、カバーしあえる職場にしたいと思います。

大阪府/会社員/40歳/子供10歳、8歳



パパ

職場で初の育児休業を取りました。上司のみならず、同年代の同僚からも、様々なことを言われましたが、**休みを取って正解でした**。結婚7年目でも仲良しパートナーでいられるのは、**あの期間にじっくり夫婦の時間を持てたから**です。

島根県/公務員/31歳/子供6歳、4歳、2歳

企業・団体のご担当の方へ ～2020年80%を目指して～

さんきゅうパパプロジェクトは、男性も配偶者の出産直後に休暇を取ることを当たり前にしていこう、というプロジェクトです。従業員・職員から配偶者が妊娠したと報告を受けたら、人事労務担当や上司の方は「休暇の計画」を聞き、一緒に考えたり、周りがサポートする体制を整える準備をしましょう。イクボスの養成・研修に取り組んだり、特別休暇の区分に「配偶者の出産のための休暇」等の項目を設ける会社も増えてきており、独自の取組を始める企業・団体も出てきました。国でも、2020年に80%の休暇取得率を目標としています。男女共に、仕事と生活のバランスがとれた持続可能な働き方の実現に向け、是非きっかけの一つとしてご検討ください。